

会報



再処理企業協議会

さいくる



2018年1月 第9号

2018年（平成30年）1月1日発行

発 行：再処理企業協議会

発行責任者：事務局長 北上孝寿

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駒字
弥栄平1-5 再処理企業センター

TEL (0175) 71-2487

FAX (0175) 71-2488

URL <https://www.saisyori-kigyokyogikai.jp/>



会長挨拶



新年のご挨拶

再処理企業協議会 会長

日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社

六ヶ所現地事務所

所長 中六角 浩光

新年明けましておめでとうございます。

再処理企業協議会会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年で本協議会も6年目の活動を行っているところではありますが、これもひとえに再処理企業協議会会員の皆様の協力のおかげであり感謝申し上げる次第です。

昨年の本協議会の活動成果は、予定通り「技術研修部会」による技術専門的な勉強会や各種保修技能の講習会、作業責任者向けのスキルアップ教育、現場訓練を行い、また、「広報部会」の活動は、会報発行やポータルサイトの情報更新、各親睦会の計画実行等、各企業間のコミュニケーションの充実を図ってきました。

再処理企業協議会発足5周年記念講演会は記憶に新しいところかと思います。

本協議会は、日本原燃(株)再処理施設及び廃棄物管理施設の運転・定検・保修・建設並びに構内のあらゆる作業の円滑な推進と会員企業の健全な発展に寄与すること、会員企業に共通する技能訓練・教育などの実施、会員企業相互のコミュニケーション推進のための事業を行うことを目的に今年も皆様と一緒に積極的に活動を進めていきたいと思います。

さて、現在の原子力発電所の稼働状況はPWR型が4基稼働中であり、BWR型含め他の原子力発電所も着実に再稼働に向けて準備を進めているところです。

そのため、使用済燃料の再処理は必要不可欠であり、ここ再処理工場のしゅん工を一刻も早く実現しなければなりません。

昨年は、再処理工場しゅん工に向けて新規制基準対応工事を一步一步進めながら、日本原燃殿においては国の原子力規制委員会との審査会合も着実に進んでおり、最終の事業変更許可申請を提出する大詰めの段階に来ております。

そのような状況の中、皆様ご承知の通り、昨年、日本原燃殿においては、雨水流入トラブル対応他、全社としての改善取組活動を最優先で行うことになりました。そちらの対応も終了しますと、いよいよ新規制基準対応工事が本格化することになります。

再処理工場のしゅん工に向けて、我々協力企業が一丸となって無事故無災害で工事を行って行かなければなりません。

昨年は残念ながら労働災害が発生してしまいましたが、我々協力会社として今年は1件の災害も発生させないことを肝に銘じて作業を行うことが絶対条件だと思います。

災害の原因の1つにはコミュニケーションの不足が災害共通の要因と思われます。

そのため昨年の反省を踏まえて本協議会としてもこれまで以上にコミュニケーションの充実を図れるような活動に取り組み、日本原燃殿をサポートできるような環境作りを心がけていきます。

皆さんも是非他人事と思わず、本協議会の活動に積極的に参加いただきたいと思います。

今年は戌年です。戌年の「戌」の意味として新たな出発と言う意味もあるそうです。

また、戌(犬)は社会性があり、忠実な動物です。人との付き合いも古く親しみ深い動物です。

このように縁起が良い年である2018年を日本原燃殿、協力企業一体となって、いわゆる運命共同体で新規制基準対応工事、その他工事を乗り切って行きましょう。

最後に、再処理企業協議会会員皆様のご健勝とご活躍を祈念するとともに、今一度、皆様方に更なるご協力をお願いいいたしまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

再処理事業部長挨拶



新年のご挨拶

日本原燃株式会社

再処理事業部長

村上 秀明

再処理企業協議会会員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

ご家族共々爽やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

再処理企業協議会の会員企業の皆さんには、日頃から私どもの再処理事業において、現場第一線で各種業務を担って頂いていることに、心より感謝申し上げます。また、この年末年始に昼夜を問わず再処理工場の保安の確保をはじめとする様々な業務に携われた方々におかれましても、大変お疲れ様でした。この再処理事業は、皆さん一人一人が力を合わせることにより成り立っており、改めて感謝申し上げます。

昨年の再処理工場におけるトピックスとしましては、まず新規制基準の安全審査において、設計基準を超える重大事故に関し、再処理工場特有の事象への対処についての審査に多大な時間を要しましたが、社内外の関係者に総力をあげて取り組んで頂いた結果、原子力規制委員会による安全審査をいよいよ最終段階まで進める事ができました。

このような状況のもと、当社の保安活動における不備について、原子力規制委員会から報告徴収命令を受け、その対策として品質保証活動の全社的な改善に取り組んでいる中で、非常用電源建屋への雨水浸入事象が発生し、施設の安全性に影響を与える設備が長期間管理できていなかったことが判明しました。

当社は、核燃料物質および化学物質を取り扱う工場を持つ原子力事業者として、プラント全体を掌握し、管理するという点が不足していたということを重く受けとめ、深く反省するとともに、これらの改善を最優先に取り組むべく、再処理事業等の事業変更許可申請の補正はしないこと、すなわち、原子力規制委員会による安全審査を一時中断し、現場の問題点を見つけ、見つけた問題点は早期に解決する。そのためのプロセスとそれをチェックする体制を構築し、安全・安心につなげる改善活動を優先することを事業者対応方針にて宣言しました。

これを踏まえ、再処理事業の継続および推進は、自らの手にかかっていることを改めて肝に銘ずるとともに、引き続き、全社をあげて、そして再処理企業協議会の会員企業の皆さんをはじめ多くの関係者の皆さまからのご支援・ご協力を賜りながら、様々な対策をしっかりと確実に進めているところであります。

また、昨年は労働災害が数多く発生した年でもありました。当社の原子力安全の保安活動に関して厳しい指摘を受けている中、地域や社会からの信頼を回復するための活動を懸命に取り組んでいる状況下での労働災害の発生は、当社の存立の資格さえ問われかねない重大な問題であります。再処理企業協議会の会員企業の皆さんにおかれましては、2018年新年の誓いとして、「働く仲間の命を守る」ということに全身全霊を込めて無事故・無災害の達成とそのために必要な具体的な活動への展開をお願いいたします。

本年は、これまで地域や社会から頂いた厳しい指摘に対して、当社への信頼回復のプロセスに対するご理解を頂いたうえで、新規制基準の安全審査を再開し、約束した数多くの安全対策について、再処理工場の設備に反映する工事を進めていくことになります。この工事を無事故・無災害で達成させ、原子力事業者として地域や社会からの信頼を獲得するとともに、再処理企業協議会の会員の皆さんをはじめ多くの協力企業の皆さんとともに、再処理工場しゅん工に向けて取り組んでいきたいと思います。

繰り返しになりますが、「私達は心を一つにチーム一丸」となって、「この1年を無事故・無災害」で乗り切ることで、安全を第一に、明るく、楽しく、元気よく、再処理工場のしゅん工を目指して着実に取り組む1年にしたいと思います。

本年もよろしくお願ひいたします。

再処理企業協議会設立5周年記念講演会



11月30日(木)再処理企業センター(X15)大会議室において、「再処理企業協議会設立5周年記念講演会」が開催されました。

「安全・安心の話し方」という演題でフリーアナウンサーの荒生暁子さんにご講演いただきました。

普段何気なく行っている「伝える」ということが、実は非常に難しく、正しく伝えることが安全に直結していることを実感できる大変有意義な講演でした。



今日は、道長の「高名の帯」についてお話をしたい。「高名」とは、世に知られていること、「由緒あるもの」という意味であるが、道長のもとには、そういう、人が是非使わせてほしいとか、めずらしいとされる帯(石帯)が所蔵されていたことが古記録に記されている。特に「瑪瑙巡方帯(めのうのすんぽうのおび)」は、彼の重宝だつたらしい。「巡方」とは、帯(ベルト)の真ん中あたりに付いている正方形の飾りだが、他にも、当地で見つかったバックルの反対側に付いている「鉈尾(だび)」の他、かまぼこ型をした「丸鞆(まるとも)」という飾りもある。その「巡方」と「丸鞆」の飾り数個が、帯の真ん中で交互に配列されているのだが、「巡方」を強調しているところを見ると、「巡方」の数の方が多いのか、「巡方」だけの飾りの帯ということであろう。

さて、その道長の「高名の帯」であるが、彼が薨去(こうきょ)した翌年(万寿五年(1011年)四月八日)、息子の関白頼通が法成寺の蔵に、「帯太刀等皆」納めたと「左経記」に記されている。中には、東宮(皇太子)に献上された「鶴通天(つるつうてん)」という帯とか、「鵝形(がけい)」という、美麗極まりない帯もあつたらしい。

後年、道長の子孫である藤原兼実の「玉葉」によれば、文治三年(1187年)三月二十五日、法成寺の宝蔵を開いて「帯箱三合」を取り出したとあり、「上の桶は玉」とあり、その「玉」の所に「案するが瑪瑙」とあるところから「瑪瑙の帯」と思われ、また注に「巡方瑪瑙一筋あり、世間にある所の瑪瑙は皆丸鞆なり、この他に巡方無し」とあるところから、大変有名な物だったことがわかる。「六ヶ所村歴史フォーラム」(013)講師、飯沼清子氏(國學院大學講師)は、「こういう記録とともに、そこにある、六ヶ所村の石帯」とおぼしき帯の素材に思いを馳せて頂いて「こんなもの」と思わず、時には人の心を惑わせもした、そういう物体であったということを、是非気持ちの中に留めておいて頂きたいと思うのです」と話された。次回は、「明天の帯」についてお話をしたい。(N)(n)期待…。



復元・紺玉帯(こんぎょくのおび)

六ヶ所村「尾駒の牧」歴史研究会 会長 相内 知昭

「ミステリアスな歴史・古代の六ヶ所村」
〔第七回〕

第5回再処理企業協議会ボウリング大会

11月11日（土）三沢ボウルにて、会員企業21社 104名（26チーム）の方に参加いただき、和気あいあいの中にも熱い闘いが繰り広げられました。



団体戦	
優 勝	昔取った杵柄三人プラスいち (株)青森クリエイト
準優勝	SKOM(エスコム) (美和電気工業(株))
第3位	ストライクパワーズ (株)日立パワーソリューションズ
個人戦	
優 勝	釜石 翔様 (美和電気工業(株))
準優勝	鶴ヶ崎 光男様 (六ヶ所エンジニアリング(株))
第3位	木村 真司様 (株)ユアテック)



団体で優勝された方にコメントを頂きましたので紹介いたします。

団体優勝 (株)青森クリエイト

下浅 晋一様

この度、2回目の参加で優勝することができ非常にうれしく思います。私事ではありますが、あまりボウリングは得意ではありません。しかしながらチームのみなさまの足を引っ張らないように全力でやらせていただきました。またチーム、会社のみなさまのご声援があったからこそ優勝することができたと思います。また大会の運営等に尽力くださったみなさまにも感謝したいと思います。誠に有難うございました。

黒川 寿様

日頃の運動不足が祟り、練習中に肉離れを起こしてしまい投球もままならず爺のような恰好…。

個人的には「やらかして」メンバーに迷惑をかけましたが、他の三人の奮闘のお陰で開催から5年連続の入賞、そのうち3回優勝という輝かしい結果を残すことが出来ました。

「仲間」の有難さを痛感した大会でした。

和田 昭二様

3回目の優勝 バンザイ!

ついでに自分の前回成績へのリベンジ成功、うれしい限りです（2G300点以上目標）。前回の3位、あきらめていた今回、わがチームは何か持っているとしか思えません。闘争心微小健在の63歳、次回も上位賞品を目指します。

柴崎 順悟様

今回は途中であきらめましたが、まさかの優勝、ありがとうございます。来年も連覇を目指し、老骨に鞭打って参加させて頂きます。よろしくお願いします。

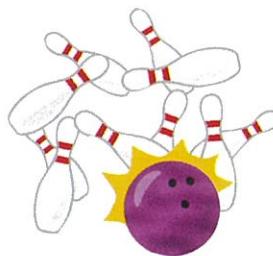
個人で優勝された方にコメントを頂きましたので紹介いたします。

個人優勝 釜石 翔様 (美和電気工業(株))

今回は、26チーム104名の方が参加しました。周りは知っている方もいましたが、大半は初めて見る方が多くとても緊張しましたが、良い結果を出せてとてもうれしく思っています。

私は前回の大会も出させて頂きましたが納得のいく結果が出せず悔しい思いをしました。前回の結果より多くピンを倒そうと思い大会前に練習をしたのがいい結果に繋がったのかなと思います。団体も優勝を狙っていましたが惜しくも2ピン差で負けてしまいました。都合が合わず団体での練習はできなかったので来年度は団体での練習もして優勝を狙えたらなと思います。

今大会に参加し感じたのは若い方々の参加が多く、とても賑やかなボウリング大会になったと感じます。私も参加してとても楽しく思いました。来年度も参加人数が増えるようこの記事を読んだ方は是非参加してみてはいかがでしょうか?きっと、楽しい一時を過ごせると思います!!



十和田湖一周

むつ小川原原燃興産株式会社 小塚 善行

株式会社アトックスの青柳様よりバトンを受け継ぎましたむつ小川原原燃興産㈱の小塚と申します。私がここ最近チャレンジしていることを紹介します。十和田湖50キロウォークという大会があります。例年7月下旬の日曜日に開催され、県内外から多くの方が参加されます。

十和田湖の休屋からスタートし、宇樽部、子ノ口と半時計回りに十和田湖を歩いて一周します。天気の良い日ですと、普段は見ることがない十和田湖の景色が非常に美しく眺められます。歩く場所によって湖面の色が違って見え、様々な十和田湖の表情を感じます。

是非一度参加して見ては如何でしょうか。

きっと強いインパクトを感じることができ、感動を届けられると思います。

次は、原燃輸送株式会社の東出哲也さん、よろしくお願いします。



紅葉狩り

東京防災設備株式会社 佐藤 佑志

皆様、日々の業務お疲れ様です。日本原燃㈱設備保全部の松谷様よりバトンを受け継ぎました東京防災設備㈱の佐藤と申します。

私はまっていることと言えば自然・祭り・生物採取・カメラですが今回は自然について、最近行った紅葉をご紹介したいと思います。

青森県内としては有名どころかと思いますが、今年は今のところ奥入瀬渓流、城ヶ倉大橋、中野もみじ山へ行きました。この3か所の見どころは、紅葉と渓流とその他植物の織り成すコンラスト、森林や渓流による清々しい雰囲気にあると思います。紅葉により新緑には無い色やグラデーションが広がり、木々からは緑が失われたことにより草花やコケ類、地衣類の緑が際立ち、秋特有の鮮やかさに圧倒されます。

目でも耳でも肌でも全身で楽しめる自然ですが、自然の楽しみ方は人それぞれだと思います。画面を見ることが多くなった世の中ですので、自分なりの自然の楽しみ方を見つけて、リフレッシュに活用してみては如何でしょうか。

ではここで一句、「秋渴き 翌朝胃もたれ いと辛し」
ありがとうございました。

次は株式会社ジェイテックの和田雄二様を紹介いたします。



株式会社原燃環境 田家 孝幸

皆様、毎日の業務お疲れ様です。三興コントロール株式会社の上田様よりバトンを受け継ぎましたテンショーンは全然普通の株式会社原燃環境の田家(たや)と申します。

何分にも苗字がわかりづらく、ふりがなを付けさせて貰いました。因みに間違いが多い呼び名は「たいえ」さん、他には「たけ」さんなど呼ばれたことがあります。小中高校で何かの賞状を貰う時には常に自分の苗字にフリガナが記載されていました。(笑)

さて、本題に入りますが、今回は私が最近趣味にしているものを紹介させて頂きたいと思います。

去年の春から鯛釣りを始め、今年からはカレイ釣りにも挑戦しております。きっかけは会社の仲間から『取り敢えず一度いいから鯛釣りをやろう』と言われ、全部借り物で挑んだ結果、見事に鯛を釣り上げることに成功しました。釣り上げた感動が忘れられなく、本格的に道具を揃え、やる事を決意し没頭しております。何分、生き物が相手なので釣れない時もありますが、腐らずに釣りを楽しもうと思いま

す。皆さんも是非とも一度鯛釣りに挑戦してはいかがでしょうか。あの強烈な引きは忘れられませんよ。

最後に来年は黒マグロ釣りに挑戦したいと思います。(嘘でーす(笑))

次は日本建設工業株式会社の柴崎宇宙さんを紹介いたします。

富士電機株式会社 三浦 拓人

皆様、毎日の業務お疲れ様です。日本原燃株式会社 東京支社 技術部 技術管理グループ 米谷様よりバトンを受け継ぎました富士電機株式会社の三浦と申します。

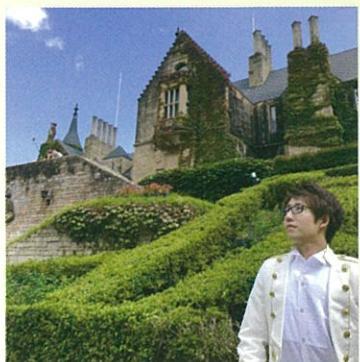
今回は、私の趣味であるイベント・観光スポット巡りの中で、最近1番印象に残った群馬県高山村にあるロックハート城を紹介してみたいと思います。

ロックハート城は1829年に英國で建築されたものを移築・復元したもので日本では初めての試みであったとされています。中世ヨーロッパの街並みも再現されており、最近では、様々なイベントやドラマの撮影に使用され、また著名人のサインが展示されている建物もあります。

城内では仮装の貸出しをしており、仮装した状態でお城の中を歩くのは中々できない経験であると思います。

皆様もぜひ、非日常が体験できるロックハート城を訪れてみてはいかがでしょうか。

次は日本原燃株式会社 安全・品質本部 環境管理センターの葛西様、よろしくお願い致します。





一族全員集合！

正月は私の兄弟とその家族全員が実家に集まって、初詣、お墓参りを済ませて近くのレストランで食事会をするのが恒例になっています。子供9人が一堂に会すと賑やかですよ。



奈良県の信貴山

大般若祈祷での正座50分
1月3日の初詣、祈祷会で自分がする正座50分です。床はカーペットが敷いていますが、祈祷会が終わって立ち上がる時には、足・膝が痺れ、感覚がなくなっています。いつも今年も足腰を鍛えよう決意します。



ごんぼ汁と水羊羹

私は福井出身で、重宝な伝統食が「ごんぼ汁」。これをごはんにかけて食べる「ぽつかけ飯」がこれまた栄養満点。正月はこたつに入り、熱いごんぼ汁と冷たい水羊羹で満喫しています。



初詣

毎年おがみ神社に初詣。八戸市で最古と言われ、屋台も出でないとても静かな神社です。雪が積もればスキーに行くのですが、雪が無ければ寝正月。



「正月といえば…」 さいくる de Talk

六ヶ所再処理メンテナンスサービス株式会社



恒例の初日の出～乾杯

初日の出を見て初詣して、帰宅。後はひたすら毎日、新年に乾杯!!日の出は【天候】、初詣は【人】(混雑)に左右されます。なんだか正月も普段とあまり変わりありませんね～



初売り

私が小さい頃、初売りは3日からだったような記憶がありますが、年々早くなり今では元日から初売りするお店まであります。正月は家でゆっくりするものだ!といながら、毎年福袋を貰いに駆り出されています。



初詣は…

毎年、初詣は家族の健康を祈願するため、八戸の櫛引八幡宮に行っています。但し、車を駐車場に止めるまでに長い行列で一苦労、遠い駐車場から神社まで徒歩にて移動するのに一苦労、参拝の列に並んで一苦労と疲れてしまうため、今年はインターネット参拝にしようか思案中です。



カウントダウン

正月というより年越しを重要視しているので、毎年娘とどこでカウントダウンを過ごすかを考えています。いつかディズニーで年越しするのが夢です。



お餅を食べながら スポーツ観戦

正月と言えばサッカー・天皇杯決勝戦!また、高校サッカー選手権。その他、箱根駅伝等観戦するのがここ数年の恒例となってます。日頃の運動不足を解消するために来年は積極的に体を動かしたいと思います。



お年玉

ありきたりですみません(最初に思い浮かびました)。親戚の子供たちも増え、前年、わが子が幾ら貰ってあげたか、毎年悩むのが恒例となり、「今年も正月が来たな」と感じます。(去年から記録する様にしました。)



神楽

1/1～1/3まで地元の子供達が歩きながら家々を回り披露してくれます。獅子舞に囁んでもらうと魔除けになり1年をより良く過ごすことができると言われているので毎年、心待ちにしています。



再処理企業協議会 ホームページのご案内

再処理企業協議会では、ホームページを公開しております。当ホームページでは、設立趣意書、かわら版や会報等を紹介しております。また、会員限定のページもあり、入所時教育の申込やお知らせなど多くの情報を確認できます。当協議会では、ホームページの改善やコンテンツの充実に努めてまいりますので、是非当ホームページを奮ってご活用ください。

また、再処理企業協議会では、協力会社の皆様のご意見、ご要望を受付しております。以下にて、ご連絡ください。
なお、相談者のプライバシーにつきましては厳重に保護されますのでご安心ください。

●ホームページアドレス

<https://www.saisyori-kigyoukyogikai.jp/>

●電話・FAX

0175-71-2487 平日 10時～16時

0175-71-2488



行事のお知らせ

1月11日……………もちつき大会
1月31日……………かわら版発行
3月……………構外見学会（予定）



再処理企業協議会
事務局長 北上 孝寿



あけましておめでとうございます。
いつも再処理企業協議会活動へのご支援・ご協力ありがとうございます。
昨年の技術研修部会活動では、再処理施設に慣れていない新規入構者の増加を想定した入所時教育内容の大幅な見直し、理解度確認テストを開始しました。また、重大な不適合発生時のRCA（根本原因分析）導入研修を新規開催（58名受講）し、大変好評でした。

一方、広報部会活動では恒例のダーツ大会（126名参加）、ゴルフ大会（第1回45名参加、第2回目の大会は、残念ながら荒天のため中止）、ボウリング大会（104名参加）など会員交流活動に多数の皆様のご参加をいただき大変盛況でした。また、設立5周年記念講演会（105名聴講）では、ブリーラナウンサーの荒生暁子さんに「安全・安心の話し方～伝達不全をなくし、0災害～」と題して、コミュニケーション力向上に関する講演をしていただき、これも前年に引き続き大変好評でした。

新年は、再処理企業協議会も6年目を迎えます。これまでの会員の皆様のアンケート調査結果では、概ね良い評価をしていただいておりますが、更に会員の皆様に喜んでいただけるような活動を開拓して行きたいと思いますのでご期待下さい。

最後に、会員およびご家族の皆様のご健健康とご多幸をお祈り致します。

二〇一八年一月一日

事務局長あいさつ

編集担当者より

関電工の木村です。
新年あけましておめでとうございます。
今年は、公私ともに忙しい年になります。
健康管理（会社の・家庭の・自身の）をしっかりと行き努力して、この1年を突っ走りたいですね。



(株)関電工
木村 俊成

永木精機の吹越です。
寒い日々が続き、路面凍結等で大変ですが、時間に余裕を持ち安全運転・安全歩行を心がけましょう！！
寒さに負けることなく健康第一・安全第一で頑張っていきます。



(株)永木精機
吹越 幸生



原燃輸送(株)
中井 俊明